

MIT 中欧視察セミナー開催のご案内

「ポスト FIT の再エネ・省エネ事業」 2017年6月6日～11日

主催 : MIT Energy Vision GbR (ミット・エナジー・ビジョン)  
 開催場所 : ドイツ  
 参加者人数 : 6～15人  
 参加費用 : 2600ユーロ (現地集合・現地解散、シングル利用)  
 お問い合わせ : [info@mit-energy-vision.com](mailto:info@mit-energy-vision.com)

■ セミナーの主旨

ミット・エナジー・ビジョンでは、6月に募集型視察・セミナーを企画しました。テーマは「ポストFITの再エネ・省エネ事業」で、下記のようなプログラム概要を予定しています。

ドイツでは小型PVを除いてFITが終了し、FIP・入札制度に移行しています。そのような社会の中での法制度、新事業モデル、進捗中の新しいプロジェクトなどについて視察とセミナーの機会を提供します。参加をご希望の方は弊社にメールでご一報ください。

■ プログラム概要

<b>6月6日(火) 到着日</b>		<b>担当: 滝川</b>
18:00	<b>フランクフルト空港に集合</b> 第一ターミナル到着ロビーBのミーティングポイントに集合、 貸し切りバスでホテルに移動、歓談・自己紹介 泊: マインツ郊外の農村部	
<b>6月7日(水) マインツ近郊とフランクフルト市</b>		<b>担当: 滝川</b>
8:40	<b>ホテル出発、終日貸し切りバスで移動</b>	
9:00~ 11:00	<b>太陽光発電業者ソーラー・コーポレーション社訪問、見学・プレゼン</b> ・ 自家消費型太陽光発電事業 ・ 蓄電池設置事業  移動中に賃貸人電力などについて解説 昼食	
13:30~ 16:30	<b>フランクフルト市内の集合住宅における太陽光電力の賃貸人への販売事業</b> ・ マイノーヴァ社の賃貸人電力ビジネスモデルプレゼン ・ 賃貸人電力が行われている省エネ型の集合住宅設備の見学	

	翌日の視察場所に移動 泊：黒い森北部
<b>6月8日（木） 黒い森 担当：池田</b>	
午前	・北シュヴァルツヴァルトの市民エネルギー協同組合による配電インフラ新設、熱供給事業（レクチャーと視察）
午後	・中部シュヴァルツヴァルトの市民エネルギー共同組合による再エネ電力の直売、賃貸人電力、産業における自家消費事業（レクチャーと視察）
夕方	フライブルクへ移動 泊：フライブルク市内
<b>6月9日（金） フライブルク市周辺 担当：村上</b>	
9:00	ホテルのロビー集合、貸し切りバスで移動
9:30~12:30	自治体ヴァルトキルヒのシュタットベルケ（都市エネルギー公社）でヒアリング ①シュタットベルケの再公営化による地域経済・政治への効果 ②ガスコジェネによる地域暖房とその電力の使用について ※上記はすでにアポイント打診中ですが、直前までOKは出せない旨の連絡があります
午後	フライブルク市内に移動 ③ヴァインガルテン住宅地の省エネ改修と地域暖房、ヒートステーションの視察でセクターカップリングについてレクチャー ④フライブルク技術市役所のプラスエネルギー建築を外から見学、EVによるカーシェアリングの躍進について解説（セクターカップリングの続き） ⑤再エネのFIP&入札制度の振り返り、取りまとめ それにより生じたバーチャル発電所VPPと電力市場2.0について ⑥市内を少し見学後、ビアホールで夕食
16:00~18:00	泊：フライブルク市内
<b>6月10日（土） 黒い森南部 担当：池田・村上</b>	
9:00~12:00	視察セミナーのまとめとワークショップ（池田・村上）
13:00以降	フライブルク市内での自由時間（お客様のみのみ） 泊：フライブルク市内
<b>6月11日（日） ワークショップ、解散 担当：池田・村上</b>	
9:00~11:00	希望者への追加レクチャー：ゾンネン社のバッテリーと小型蓄電池を利用したVPP「ゾンネンコミュニティ」について（村上） ※希望されない方は日曜日・朝のフライブルク市内をご自身でゆっくりと散策
12時頃	フランクフルト空港へ貸し切りバスにて移動（池田） 夕方（17時ごろまでを想定）、フランクフルト空港で解散

※プログラムは現在調整中です。訪問先の都合によって変わる可能性があります。

MIT Energy Vision GbR

Sonnhalde 12, D-79183 Waldkirch, Germany

Tel. +49-7681-4978252 Fax. 4978254

e-mail: [info@mit-energy-vision.com](mailto:info@mit-energy-vision.com) web: [www.mit-energy-vision.com](http://www.mit-energy-vision.com)

Tax No.: 05052/08350 Finanzamt Emmendingen

Owners and Managing directors: Atsushi Murakami, Noriaki Ikeda, Kaori Takigawa

## ■ キャンセル規約

1. メール連絡などで確定した正式なお申し込みの後にキャンセルされる場合は、申し込み手数料として発生する 500 ユーロを除いた残りの参加費（ホテルがシングルの場合：2600 ユーロ - 500 ユーロ = 2100 ユーロ）は返金されます。入金手続きがまだであっても、500 ユーロは入金していただきます（ホテル予約、バス予約、およびそれらのキャンセルなどにおける業務が発生するため）。

2. ただし、セミナー開始の 4 週間前にあたる 2017 年 5 月 9 日以降にキャンセルされる場合の返金については以下ようになります。

5 月 9 日以降 参加費 2600 ユーロの 10% (260 ユーロ) + 500 ユーロ = 760 ユーロは返金されません

5 月 16 日以降 参加費 2600 ユーロの 20% (520 ユーロ) + 500 ユーロ = 1020 ユーロは返金されません

5 月 23 日以降 参加費 2600 ユーロの 50% (1300 ユーロ) + 500 ユーロ = 1800 ユーロは返金されません

5 月 30 日以降 参加費 2600 ユーロの 70% (1820 ユーロ) + 500 ユーロ = 2320 ユーロは返金されません

なお、6 月 6 日のセミナー開始当日からセミナー途中でのキャンセルについては、全額返金できませんので、よろしくお願いします。

3. 正式な申し込み後に請求書を作成し、送付しますが、ご入金にはセミナー開始一月前の 5 月 9 日までをお願いします。

## ■ メッセ「インターソーラー2017」5/31~6/2、ミュンヘン

上記の MIT 視察セミナーのプログラムが始まる直前の 5 月 31 日（水）～6 月 2 日（金）は、ドイツ・ミュンヘンにおいて欧州最大規模のソーラーメッセ『インターソーラー』が開催されます。昨年はテスラ社のバッテリーが脚光を浴びたように、今年の注目は、Sonnen 社のバッテリー & ヴァーチャル発電所になることでしょう。

<http://www.intersolar.de/en/home.html>

MIT 視察セミナーと合わせてこちらにも訪問されると、ドイツ再エネ市場の「今」を垣間見ることができるでしょう。また、「インターソーラー」のアテンド・通訳も MIT では引き受けています。こちらにも個別にお問い合わせくださいませ。



## ■ MIT Energy Vision GbR (ミット・エナジー・ヴィジョン社) について

ミット・エナジー・ビジョン社は、日本のエネルギーシフトを中央ヨーロッパから支援することを目的に、欧州在住の村上敦、池田憲昭、滝川薫が2012年3月に設立しました。私達のビジョンは、地域や住民が主体となって実現する、100%再生可能エネルギーによる社会づくりです。中央ヨーロッパには、再生可能エネルギーと省エネルギーに関わる成熟した技術、ノウハウ、経験、政策、コンセプトがあります。それは日本のエネルギーシフトを強力に効果的にサポートできるものです。

弊社では、ドイツ・スイスを拠点とした10年以上にわたる環境／エネルギー分野でのコンサルティング、執筆活動により蓄積した欧州ネットワークと専門知識、言語能力を活かし、日本のお客様の需要にマッチしたプロフェッショナルな専門視察サービスを提供しています。中央ヨーロッパと日本の人々が共に力を合わせるにより、日本のエネルギーシフトを加速・実現することを目指します。

[www.mit-energy-vision.com](http://www.mit-energy-vision.com)

MIT Energy Vision GbR

Sonnhalde 12, D-79183 Waldkirch, Germany

Tel. +49-7681-4978252 Fax. 4978254

e-mail: [info@mit-energy-vision.com](mailto:info@mit-energy-vision.com) web: [www.mit-energy-vision.com](http://www.mit-energy-vision.com)

Tax No.: 05052/08350 Finanzamt Emmendingen

Owners and Managing directors: Atsushi Murakami, Noriaki Ikeda, Kaori Takigawa